

川東神楽保存会 会長

千葉 正司氏



今日は川東神楽保存会の千葉正司さんの芸術文化の歴史をご紹介します。

正司さんは昭和22年衣川村の芸能好きの一家に生まれ育ったせいか、小学生の頃から民謡や浪花節が大好きで、自己流ながら「長持ち唄」や「南部牛追い唄」を歌ったり、ラジオから流れる浪花節を涙流しながら聞いていたとのこと。

その後当然の如く色々な芸能にはまることになりまして、東京から28歳でUターンし早速、戦時中から休んでいた地元の「川東神楽」を近所の友人と共に復活させました。その後復活した神楽会の会長を担い、「ころもがわ神楽まつり」の事務局長も務めるな

ど、衣川の四神楽団体の保存と伝承に尽力されてきました。

次の年に神楽仲間と昔懐かしい「大黒舞とチンドン屋」も復活させ、盛岡以南の各種行事で披露もしてきました。

これだけではありません。29歳の頃に奥様と一緒に民謡を習い始め、岩手県大会で優勝したこともあり、現在は地元の「衣川芸能愛好会」事務局長として会の育成に努めています。

その後、平成10年に詩吟も始めました。独特のメロディーに魅了され前沢の教室で学びながら、日本コロムビア全国吟詠コンクール決戦大会に出場し、優秀賞をい



川東神楽

ただき、日本詩吟学院若手学会副会長としても後継者の育成に努めてきました。

もうこの辺でおしまいかと思えばそうならないのが正司さんで、平成21年から始めたのが講演。地元の歴史を知ってもらおうと、衣川を含む県南各地で公演をしてきました。「昨年は「落語VS講談」いわて王座決定戦」でも優勝し、5年前から子供講談の指導もしています。

以上ですが最後に正司さんは言いました。間違いなく「芸は身を助ける」と。



千葉正司(ちばまさし)氏の主な経歴及び受賞歴

- ・日本電信電話公社(現NTT)に55歳まで勤める。
- ・奥州市芸術文化協会副会長
- ・川東神楽保存会 会長
- ・平成21年 秋刈唄全国大会優勝
- ・平成29年 日本コロムビア全国吟詠コンクール決戦大会第3部入賞
- ・平成30年 奥州市文化芸術及びスポーツ顕彰表彰文化芸術栄光賞受賞



*写真は令和3年度奥州子ども芸術発表会に出演した奥州市立梁川小学校のみなさん

地域の団体紹介

心を表して躍る

「学校・地域が一体となって」

「金津流梁小獅子躍り」は、伝承活動を通じ、郷土愛・表現力・想像力の育成を図ることをねらいとして、平成元年から始まりました。現在は一年生から三年生が口唄、四年生が頭(かしら)をつけないで躍り、五・六年生がすべての装束や太鼓をつけて躍ることに全校で取り組んでいます。

活動は上学年が下学年に教える形で進め、運動会や学習発表会の他、梁川地区や江刺地域の行事等での発表など、年間を通じて取り組み、二月に引き継ぎ式を行います。今年度は、修学旅行で訪問した鶴住居トモスで慰霊の献舞の機会を得ることができました。

本校で取り組んでいる獅子躍りは、他の踊りとは異なり、「自分が躍る」、自分が唄い、太鼓・口唄・躍りを同時に

行うことは大変難しいものですが、「獅子躍りの心を表して躍る」ことを目指して練習しています。

金津流野手崎獅子躍りの庭元や師匠といった地域の指導者からの指導、保護者の方々からの協力のおかげながら、学校・地域が一体となって進めており、地域社会の一員として地域の伝統文化への理解を深めるとともに、子ども達の地域に対する愛着や誇り、感謝の心を育み高める活動になっています。

(校長 千田昭宏 記)



令和3年度 一年間の活動状況

| | |
|-----------|-----------------------------------|
| 4月9日(金) | 令和3年度第一回三役会 |
| 4月16日(金) | 令和2年度会計監査 |
| 4月23日(金) | 令和3年度第一回理事会 |
| 4月23日(金) | 令和3年度総会 |
| 5月19日(水) | 第16回奥州市民芸術文化祭第10回吟詠吟舞の祭典準備委員会 |
| 6月19日(土) | おとしゅつ伝統文化(とも)日本舞踊教室開講式(参加者子ども14名) |
| 6月24日(水) | 第16回奥州市民芸術文化祭第一回実行委員会臨時三役会 |
| 6月27日(日) | おとしゅつ伝統文化(とも)お琴教室開講式(参加者10人) |
| 7月7日(水) | 第16回奥州市民芸術文化祭郷土芸能の祭典「打合せ会」 |
| 7月9日(金) | 令和3年度第二回三役会 |
| 9月3日(日) | 令和3年度奥州市芸術文化協会芸術文化賞審査委員会 |
| 9月25日(土) | 第16回奥州市民芸術文化祭開舞まつりの開催に係る関係者協議 |
| 10月28日(水) | 第16回奥州市民芸術文化祭開舞まつりの開催に係る関係者協議 |
| 10月29日(金) | 奥州子ども芸術発表会出演団体打ち合わせ会議 |
| 11月17日(水) | 令和3年度第三回三役会 |
| 12月10日(金) | 奥州市の芸術文化の未来を語る会出席 |
| 12月10日(金) | 第16回奥州市民芸術文化祭閉幕式 |
| 1月16日(日) | 奥州市芸術文化協会芸術文化賞表彰式・講演会(出席者101名) |
| 3月11日(金) | 奥州子ども芸術発表会出演者94名/来場者229名 |
| 3月23日(水) | 令和3年度第四回三役会 |
| 3月23日(水) | 令和3年度第一回事務局会議 |

訃報

当協会の伊藤出雲理事が2月17日 83歳で逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

当協会が合併した最初の会員交流会は、平成20年に衣川荘で行われ、各地域の特色ある民謡や踊り、神楽の舞で賑わいました。最も盛り上がったのは川東芸能二座のチンドン屋。昔懐かしい太鼓や鐘の音に合わせ、お化粧して会場を練り歩く会員さん達に会場は拍手と共に大きな笑いが起こりました。コロナ禍でもあの時のように笑顔で芸術文化に触れあうことができる催し物を会員の皆さんと共に知恵を出し合って今後も企画していきます。(利)

第9号 / 令和4年3月31日発行

げいぶん 奥州

奥州市芸術文化協会

〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字石橋41番地 奥州市文化会館(2ホール)内

TEL 0197-22-6622 FAX 0197-22-6614

奥州市の文化財継承と創造事業ホームページ <http://oshu-geibun.jp/>

協一年 この 2021~2022 PHOTO GALLERY

芸術文化の歩みを止めない

奥州市民芸術文化祭

9月25日▼12月10日

新型コロナウイルスの感染拡大が収束する兆しが見えない中、市民の芸術文化活動と発表の場である第16回奥州市民芸術文化祭は、YouTube配信、日程を分けての開催や入場整理券の配布など感染拡大に配慮しつつ15行事を実施いたしました。期間中の入場者数は昨年度の2倍、それでも通常開催時と比べればまだ3分の1程度の開催行事数でしたが、「芸術文化の歩みは止めない」という各参加団体の熱意を感じた祭典でした。



「奥州市民☆文士劇スペシャルバンドメモリアルコンサート」ではこれまでの文士劇で演奏してきた楽曲を披露し、迫力ある音を会場いっぱいに響かせました。(写真は10月31日「江刺芸術祭」江刺体育文化会館)



初の試みとしてYouTube配信を行った前沢芸術祭舞台部門。自宅に居ながらパソコンやスマートフォンで芸術文化を満喫できました。(写真は10月31日「前沢芸術祭」前沢ふれあいセンター)



水彩や油彩、色鉛筆など多彩な表現で四季折々の風景や自画像などの作品を鑑賞した市民は久々の芸術の秋に日常を忘れてほっとしていました。(写真は10月1日「絵画展」めんこい美術館)



県内の感染状況が落ち着きを見せた11月、コロナ禍の閉塞感を吹き飛ばすかのような堂々とした演舞を繰り広げ、地域に活気を呼び込みました。(写真は11月28日「郷土芸能の祭典」奥州市文化会館)



おうしゅう伝統文化親子教室
文化庁の伝統文化親子教室事業の一環。本年度は2教室24名の子ども達が参加いたしました。お琴教室では、上達とともに演奏の幅も広がっています。(写真は6月27日奥州市文化会館)



会員交流会
岩手県芸術文化協会の柴田和子会長の講演会を行いました。コロナ禍でも工夫を重ねて開催した岩手県の取り組みについて強い関心が寄せられ、参加した会員の芸術文化に対する意識を高める機会となりました。(写真は12月10日ホテルニュー江刺新館イース)

奥州子ども芸術発表会

1月16日(奥州市文化会館)

地域の伝統を守るのは自分達だという思いが躍動する伝統芸能の舞台や、艶やかな琴や日本舞踊の稽古の成果に表れていました。子ども達にとつては大勢の観客の前で演舞を披露することは自信につながり、大変良い経験になったようです。



おうしゅう伝統文化子ども日本舞踊教室



狼ヶ志田神楽保存会



おうしゅう伝統文化子どもお琴教室



子ども歴史講談「輝凜会」



会長のつづき 広野 次雄

コロナ禍に負けないで

令和元年年末から長期にわたり、社会生活に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症。形を変えつつ世界的な広がりが未だ続いています。私達の心の拠り所ともいえる芸術文化活動においても大きな障害となつていきます。しかし、令和3年7月から8月頃、第5波と言われている感染状況が秋には大きく減少し、急遽各地域で規模縮小しながらでも感染対策を取りながら芸術文化祭開催に取り組み、幕

を開けたところ、市民の皆様から大きな万雷の拍手をいただき、私達主催者側もほっと心ななでおろした次第です。
12月には新たな変異株「オミクロン株」が拡大中というニュース。これの感染拡大の早さにはびくつき、年明け1月中旬頃、奥州市では2月1日より1ヵ月間公共施設の完全使用禁止を発令。この事態に苦しんだ団体の1つに、江刺ささらホールで開催予定の奥州市民☆文士劇「西遊記」の公演がありました。10月中旬から約3ヵ月半の練習を積み重ねての本番を迎えつつある大切な時期でもあります。スタッフ、キャストは無論、高野実行委員長は「コロナに負けるな」「江刺の元氣と市民の芸術文化を止めるな」の決断に団員一同さらに用心深い日常生活を過ごしつつ、総仕上げに入りましました。途中事故も

賛助会員のご紹介

「個人賛助会員」

| | | |
|-------|--------|-------|
| 広野次雄 | 笹井基 | 津田養市 |
| 菅原義子 | 大石文雄 | 高橋勉 |
| 佐藤和雄 | 石井英明 | 古川和子 |
| 菊地栄雄 | 千田弘明 | 千葉トヨ子 |
| 千葉正司 | 及川幸博 | 六戸健太郎 |
| 鈴木美喜子 | 佐々木ハツミ | 後藤セキ子 |
| 高野司 | 高橋力 | 千葉馨 |
| 高林悦子 | 高橋守 | 伊藤出雲 |
| 千葉文男 | 宮杜さつき | 佐藤クニ |
| 佐々木恵子 | 大石直 | 鎌倉正明 |
| 羽藤亮 | 及川堅一 | |
| 渡邊暁子 | 高橋睦夫 | |

「法人又は団体賛助会員」

- 千葉建設株式会社
- 株式会社東北ブランニング
- 民舞若吉会
- 水沢宝生会
- 前沢岳風会 小山教場(小山吟詠会)
- 水沢喜多会
- 陸中「宮駒形神社」株式会社佐々儀
- 水沢ガク株式会社
- 前沢岳風会
- 新都山流和楽会
- 扇和会

敬称略/順不同
令和4年3月31日現在

賛助会員加入のお願い 当協会は芸術文化の後継者育成や伝統文化の継承など、地域文化発展のための事業を行っています。奥州市の芸術文化活動並びに当協会の事業、運営を側面から支援して下さる賛助会員を募集しています。

【送金先】 郵便振替 口座番号 02200-7-135788 奥州市芸術文化協会
■個人賛助会員 1,000円 ■法人又は団体賛助会員 5,000円 金額は一口です【年額】



奥州市芸術文化協会
芸術文化賞受賞者

- 胆沢川柳会
千葉馨
江刺俳句協会
鈴木ヤス
前沢俳句会
伊藤悟
胆沢川柳会
千田悦子
若狭流民舞若吉会
千葉マツ子
前谷地神楽保存会
高橋政美
小山吟詠会
大森峰夫
岩手県舞踊協会若葉会
千葉トヨ子
菊水流尺八道順風会
梅原新吉
胆沢俳句会
六戸健太郎
大原神楽保存会
高橋隆一
民謡研究会
小野寺俊男
衣川茶道愛好会 和敬会
鈴木アヤ子
- 岩手県芸術文化協会表彰者
前奥州市芸術文化協会副会長
鎌倉正明
- 敬称略